

N.M. 2014年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

AO入試で地域創生学群に入学してからの出会いと経験は、まさに私の人生を変えるものでした。

在学中は、地域と学生をつなぐ様々な活動に挑戦。北九州環境修学旅行プロジェクトでは、自らバスガイドとして修学旅行に同行し、テレビ取材などのメディア対応を通じ活動を広めました。

また、市内10大学約400名の学生を巻き込んだイベント「キタキュージャック～学生の笑顔がまちをジャックする3日間～」では、実行委員長を務め約30名の仲間とチーム作りや、行政との調整や予算交渉を経験しました。男女200名を超える参加者が集った『学生コン』、キャンプにワークショップの要素を取り込んだ『夢キャン』、芸人やゆるキャラを招いた大学対抗本気の大縄跳び大会『JUMPバトル』、学生の夢をテーマに参加型PV作成を行う『KITAQ PV』4つの大型企画が街中で開催されました。活動の集大成として、参加者たちの笑顔をモザイクアートにしてアミュプラザ小倉に展示しました。地域社会に学生のパワーと可能性を伝え、学生にはシビックプライドを育ててほしい。そんな思いを胸にチームを率いました。

ゼロから思いを形にするのは初めての経験で、私が指揮をとるだけでなく、各企画リーダーたちを信じて任せる難しさも学びました。見えない答えに戸惑い、途中で挫折する仲間も多く、泣きながら会議を重ねることもありました。それでも仲間と走り抜けた時間が、今の私の原点です。卒業前には佐藤ゼミの仲間と地域でビアガーデンを開催したり、食育をテーマにした移動販売『キャンパスキッチン』を立ち上げたり、飲食ビジネスにも挑戦しました。思いを形にして笑顔を生み出したいという私の原動力は、学生時代に培われました。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

大学卒業後は、不動産会社に就職しました。就職活動中から、本当は起業したい思いがありましたが、身近に経営者はおらず何から始めたらいいのか分からないまま就職という選択をしました。会社員として働く中で、お客様との信頼関係を築くことで、数字目標に達成するといった営業力や、営業・人事・経理・経営など多くの役割の連携があって会社が成り立っていることを学びました。

その後、「やっぱり自分でゼロから仕事をつくってみたい」と思い、シフォンケーキ専門店THE.GOODMOODを始めました。創業当時は、1人で製造、接客、経理の全てを行い苦勞も多くありましたが、地域の方々の支えにより少しずつお店が育ち、現在は8年目を迎えます。今は、「人と街をごきげんにしたい」をテーマに、スタッフとともに地域に根差したブランドづくりに注力しています。

今後は、THE.GOODMOODというブランドの成長とともに、働くスタッフも成長し、働く女性が精神的に自立し誇りを持てる企業づくりを目指します。

現役生へのメッセージ

私が大学生の頃は、卒業後の進路についてあまり具体的に考えられませんでした。目の前の活動に全身全霊で挑んでいたように思います。

その経験が、結果として後の起業時に多くのチャンスをもたらしてくれました。チャンスはいつも、考える前に目の前に現れるのだと思います。それが本物の機会か否か判断できるのは一歩踏み出した人だけではないでしょうか。多くの人と関わることができる学群生活で、目の前に現れたあらゆる機会に当事者意識をもって挑戦していただきたいです。

(2025年10月23日執筆)



キタプロ実習で開催したキタキュージャックの一コマ。KITAQPV企画で参加者の夢が書かれた風船を街に放った時の写真。実行委員長として各リーダーとの接し方や、大枠全体の管理は課題も多く、成長のきっかけになった。



THE.GOODMOOD5周年祭のおしらせ用SNS投稿の写真。周年祭や地域イベント参加などブランドづくりのために必要な企画がどんどん生まれています。